

会報

新年号

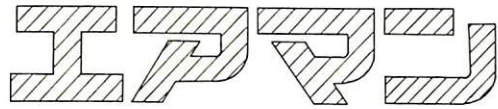
社
団
法
人
記
念
特
集



社 団 法 人 全 国 建 設 機 械 リ ー ス 業 連 合 会

独自の技術でリードする...

●世界で最も良く



●世界で最も安い

PDR-250S型

防音型 ディーゼル発電機

●12KVA~300KVA



PDG-50S型

防音型 ポータブルコンプレッサー

●20PS(2.0m³/min)~350PS(34.0m³/min)

新発売

小型発電機

●3.5KVA~10KVA



10KVA



3.5KVA



北越工業株式会社

本社工場 ●新潟県西蒲原郡分水町大武新田113-1 ●TELEX3193694エアマンニイカタ ●TEL (02569)7-3201(大代) ●〒959-01
 東京支社 ●東京都千代田区神田駿河台2-1<近江兄弟社ビル> ●TELEX2222437AIRMAN ●TEL (03)293-3351(大代) ●〒101
 大阪支店 ●大阪府摂津市大字一津屋1235-1 ●TELEX5236912エアマンオオサカ ●TEL (06)383-3631(大代) ●〒564
 営業所 ●札幌/盛岡/仙台/郡山/新潟/宇都宮/高崎/千葉/横浜/松本/静岡/名古屋/金沢/京都/高松/広島/岡山/福岡/鹿児島/大分/沖縄

会報

◎法人化記念特集号

社団法人全国建設機械リース業連合会



■目次■

「法人化創立発会式」..... (2)

■祝辞■ (3)

内海建設政務次官、三塚衆議院議員、安井参議院議員、古賀参議院議員
 上東建設大臣官房建設機械課長、村田全国建設業協会専務理事
 松岡全国クレーン建設業協会副会長

■発会式、祝賀パーティーの写真特集..... (7)

■法人化経過報告 西垣理事..... (8)

＝法人化特集号に寄せて＝ (10)

全国建設機械リース業連合会 会長 山内 鹿蔵
 北海道建設機械リース業協会 会長 伊藤 鉄雄
 宮城県建設機械リース業協会 会長 阿部 喜平

日本ローラ リース協会 会長 藤井 孝治
 関東重機リース協会 会長 高村 邦彦
 関東メンクリース協会 会長 会田 寅次

神奈川県建設機械リース業協会 会長 中村 憲
 静岡県建設機械リース業協会 会長 高島 博行
 中部建設機械リース業協会 会長 宮野 正三

大阪建設機械リース協同組合 理事長 志茂坂 敏
 兵庫県西部地区重機建設業者組合 理事長 大知 国治
 中国建設機械リース業協会 会長 野口 誠輔

四国建設機械リース業協会 会長 三原 達雄
 九州建設機械リース業協会 会長 林田 陽一郎

■行事一覧..... (30)

■連合会会員名簿..... (31)

■編集後記..... (32)

「社団法人化」実現！

発会式盛大に開く



盛大に開かれた連合会の発会式（上はあいさつする山内会長）

業界の発展向上へ大きく前進

— 関係者多数が出席 —

社団法人全国建設機械リース業連合会（会長山内鹿蔵氏）の創立発会式が11月6日午後2時30分から東京・丸ノ内の東京商工会議所8階、東商スカイルームで、全国から代議員、賛助会員など多数出席のもと、盛大に開かれた。

社団法人化については、当連合会の永年の夢

であり任意団体として昭和44年に発足以来5年、ようやくその念願が実現、建設機械リース・レンタル業界の歴史に輝かしいページを残すことになった。と同時に業界の発展向上へ大きく一歩前進することになったわけである。

発会式は、小俣理事の司会進行によりはじまり、志茂坂副会長の開会の辞につづいて山内会長があいさつに立ち、「さる昭和45年、任意団

体全国建設機械リース業連合会を創立以来、およそ5カ年を経過いたしました。この間、リース業の健全なる発展、地位の向上をはかり、団体活動を推進しつつ法人化をスローガンとして建設業界に協力いたしてまいりましたところ、このたび全国におけるリース業の14団体の会員611社の異常なまでの熱意と協力の結集、団体の福祉活動の実績の積み重ねに対して、監督官庁たる建設省および関係諸官庁のご理解とご指導のもとに顧問諸先生方の格別なるご配慮によりさる10月18日付をもって建設大臣東文発、第215号で社団法人の正式許可を受けることができました。業界向上発展のため、画期的な前進をみるに至り、誠に慶びにたえない次第であります。これを機によりいっそう団結し、交流を深め、業界に内蔵するあらゆる障害、対外的に解決すべき諸問題に対処して参る所存であり、会員各位の大いなる自覚とご協力をお願いしたい」旨の力強い所感を述べた。

— よりいっそう団結 —

このあと西垣理事から社団法人化の経過報告があり、つづいて来賓のあいさつに入り、内海建設政務次官、三塚衆議院議員、粕谷衆議院議員（代理）、古賀参議院議員、安井参議院議員の諸先生および上東建設大臣官房建設機械課長、松岡全国クレーン建設業協会副会長、村田全国建設業協会専務理事、宗像全国建設機械業協会連合会会長など諸氏から、今後ともますますの発展を祈念する旨の祝辞をいただいた。

祝電披露のあと、連合会役員の紹介、さらに役職員の感謝状の贈呈（72名、伊藤理事が代表して受領）が行なわれ、小出理事の閉会の辞で無事発会式を終了、引きつづいて別室で祝賀パーティーに移り、社団法人化の慶びを分かち合うとともに親睦の歓談がつづく中、午後5時過ぎ散会した。

「一層の発展を、



内海建設政務次官

社団法人全国建設機械リース業連合会の創立にあたり一言祝辞を申し上げます。

ご承知のとおり、政府におきましては生活環境、福祉の整備、環境保全対策には特段の配慮を加え、真に住みよい豊かな国づくりによる国民福祉の充実をめざして確実に社会資本の整備拡充をはかっているところであります。

しかしながら昨今における諸物価の急騰、資源の枯渇、その他わが国現下の経済、社会情勢は予想外にきびしく、建設事業に対しても能率的、経済的指向がより強く要請されることになってきました。建設工事の施工に際し、より高度の建設機械化は、この要請の最善の対応策と考えられておるところであります。かかる情勢にかんがみ、建設業の体質改善をはかり、経営を合理化し、その健全な発展に寄与する強力な建設機械貸与業が今日ほど強く要請されていることはないとしても過言ではありません。

この時にあたり建設機械貸与を業とする者が大同団結して社会的要請に応じて社団法人全国建設機械リース業連合会を創立されましたことは誠に喜ばしいことであります。

しかしながら建設機械貸与業は、企業体質の強化、過当競争の排除、賃料の適正化、付帯施工技術の向上、建設工事公害、施工上の安全対策、その他山積する幾多の解決困難な問題を抱えております。これが克服にあたっては、貸与業界の担う社会的責任の自覚と地道な努力を重ねることが肝要であり、それがまた貸与業界の今後の発展を約束するものと確信いたします。

各位におかれましては、本日この時を契機により強い団結のもと、貸与業界いっそうの発展のため、ご努力されることを期待いたします。

『近代的な分野を、』



衆議院議員
三塚 博

全国建設機械リース業連合会ではこのたび、永年の大願望でありました社団法人格を取得されたことを心からお祝い申し上げます。

来年度は総需要抑制が緩和されるのではないかと、あるいは金融引締め政策の転換が行なわれるのではないかとということが業界サイドから大きな声となってきております。物価鎮静が政治の最大眼目となっております今日、そのまま受け入れて政治の転換が行なわれるかということになりますと正直に申し上げまして抑制策はいぜんとして取らざるを得ないでありましょう。

ただ、50年度いっぱい、これを継続することは果たして日本経済の全体から考えまして正しいか、政策として当を得ているかということになりますと、強度の不況、倒産、失業という大きな社会問題がそこに派生してくるという問題が眼前にありますだけに、やはりそこには国民の諒解を得ながら思い切った政策転換がなされて行かなければならないことも大きな理由があると思います。

国民生活の安定、そして一番危機に直面している建設、繊維の関係の業界をどう収集していくかということが、わが党に課せられました最大の問題点であろうかというふうに思います。

同時に困難な時期であればあるほど役員の方々の皆さまを中心に立派な連合会を育成されるとともに近代的なリース業の分野を固定化・安定化されるよう期待いたします。もちろん私も関連する者は皆さまのご意見、ご要請にしがたがいて努力して参りたいと考えております。皆さまの今後の隆昌を祈念いたします。

『有効な活躍を、』



参議院議員
安井 謙

全国建設機械リース業連合会がこのたび法人組織として新しく発足されましたことを心からお祝い申し上げます。

現下の経済情勢で、特に建設業界におかれては種々不満のこともありまじょうが、できるだけ業界が合理化に努力されるよう期待します。合理的な仕事をやるしくみというものはどうしても必要であり、その必要に応じて生まれたのが皆さまのこの連合会だと思えます。

これを機にますます皆さまの連合会が建設業界で大きく貢献されるであろうことをお世辞でなく確信をしております。

新しい日本の国土開発、あるいは都市計画、これはいずれにしても困難を排して、またすすめるべきではない時期が当然くるわけがあります。どうか皆さまが今後も頑張られまして、この不況をさらに克服され、ますます有効な活躍をなされますよう、会長をはじめ、役員、会員の皆さまの今後のご奮闘を心からお祈りいたします。

☆

☆

『大きな意義、』



参議院議員
古賀 雷四郎

今般、全国建設機械リース業連合会のかねてよりの念願でありました法人格を取得されましたこと誠におめでとうございます。

建設機械はもうすでにリース時代に入っております。連合会におかれては全国的な組織を持たれ、建設事業の発展のために重要な役割を果たされてきたわけでありまして。特にその必要性が近時ますます要求されており、今回の法人格の取得と相まって、これを機にさらに同連合会が大きく飛躍されることを確信いたします。

現在の建設業は、総需要抑制の中で、かつてない厳しい試練に直面しており、誠に残念ではありますが、国民生活に影響のある大きな問題を解決するためにはやむを得ないことだとも考えられますが、ただ総需要抑制の中にも選別的な抑制も当然考えられなくてはならない問題であると思えます。

建設業界の倒産が社会不安に与える影響は大であり、この問題は当然解決すべき課題としてわれわれも全力をあげておる次第ですが、こうした非常事態のときこそ一層の強固な団結が必要であり、その強い結びつきによって、この危機も乗り切っていくものと確信いたします。

この時期に法人格を得られましたことは、そこに大きな一つの意義があると私は信じております。私も連合会の微力な顧問ではありますがこの非常事態を乗り切るべく皆さまのご協力を得て、全力を尽くす所存でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどを心からお願いいたしまして、お祝いの言葉といたします。

『これからが大切、』



建設大臣官房
建設機械課長
上 東 広 民

社団法人化おめでとうございます。

建設省のいわゆる公式の組織につきましては政務次官からお話があった通りでありまして、また引き続き衆・参両院の両先生から種々許可につきましてはお話がありました。私はその点につきましては申し上げる点はありません。ただ皆さま方とおつき合いいたしてありまして、早く団結され、組織化されることがよいのではないかとのお話を参りました。

今回、明確に社団法人になったわけでありまして、実はこれからが大変だなど私も感じているわけでありまして。協会ができて種々な付合いをさせていただきますと一般的、私的な問題につきまして、今後いろいろ検討された方がよろしいのではないかと思います。

リース業の実態からみますと、今後リース業あるいは、またある意味におきましては、レンタル、チャーターといった問題、また建設業の専門化の問題と、このような問題をかねましてそれをどのようにして行くか、たとえば賃貸業にとりましては私の方でやっておりますのは機械損料等です。

クレーン建設業協会におかれては賃貸料という選出方法で近づけておられてありますが、そういった機械別な検討事項というものをこれから皆さま方のご協力を得ましてやっていきたいというふうに考えております。

祝 辞

業界と協調を、

社団法人 全国建設業協会
村田 専務 理事

全国建設機械リース業連合会の社団法人化を心からお祝い申し上げます。

ゼネコンが機械を多く持って仕事をし、機械の稼働率等、合理化がむずかしい。このような関係で2年前前にさん下約25000社の会員を対象に建設機械の保有状況がどのようになっているか調べたところ、かなりの業者がリース、レンタルに頼っており、一定規模以上はやはりリース、レンタルをお願いしているという具合に大手、中小、あるいは零細業者にいたるまでリース業界の皆さまにごやっかいになっておるわけであり、そのような意味で今後とも相たずさえて業界の種々な問題につきまして配慮して参りたいと思っております。皆さまの先輩格でありますクレーン協会の方々とは安全対策の面などでは懇談を持って対処いたしておりますが今後貴業界と協調を図って参りたいと考えております。

現下の建設業関係の重大な危機につきましては、自民党の首脳部ならびに関係閣僚と懇談し総需要抑制の中であっても一応、十分な配慮のある工事発注をお願いしたいこと、建設業はこのたびの不況で赤字経営に苦しんでいること、融資を受けるにはある程度の工事受注量を持っているという裏付けがなければならないこと、それと同時に協同組合の組織も非常に弱体であるため思い切った活動もできないなど、こうした現状を認識してもらい、しかるべく配慮を陳情いたしております。われわれとしましては、この陳情に対し良い結果が得られることを大いに期待している次第です。

☆

☆

手を握り合って、

社団法人 全国クレーン建設業協会
松岡 副会長

法人格の許可おめでとうございます。

現在、建設産業は非常に最底状況にあり、われわれリース、レンタル業にとりましては、非常な事態となっております。物品販売業でなくかためて物を売るものでなく毎日の積み重ねにより、われわれの業がやれるわけであり、

このたび全国建設機械リース業連合会がめでたく社団法人の認可を得られましたのを機に今後ますます発展され、われわれ共々に建設業の専門家団体として確固たる地位を1日も早く築いていきたいと思っております。

建設業の専門家団体といたしましては、ほかに土工協会、基礎打設協会、コンクリートポンプ協会等、建設産業の専門家としての団体が生まれつつあり、建設業そのものがわれわれ建設専門家団体の上に立って、より以上に建設産業を引き上げていただくように念願する次第であります。

クレーン協会におきましては、この難関を乗り切る方策を考えておるところではありますが、これにはまず業者が団結しなければなりません。われわれの業界でも、どこどこが安くしたからこちらも安くしなければ、人の足を引っぱるようなことばかり話していたのでは前進できません。

原価コストを再認識し、原価に基づいた正常な商売をして行くことが肝要であります。

われわれクレーン業界にしる、こちらの業界にしる、機械が余まっているときは安くしたり、なくなれば高くというようなことではなく、やはり平均されたパターンをもって消化して行くように私の方では考えており、また全国建設機械リース業連合会の方々とは手を握り合って行きたいと存じます。

貴業界のますますのご発展をお祈りいたしましてお祝いの言葉といたします。

発会式スナップ



山内会長から代表して感謝状を受領する伊藤理事



連合会役員の紹介



法人化を喜び合う右から山内会長(2人目)、志茂坂副会長、安井参議院議員、小俣理事

社団法人化

経過報告

理事 西垣勝行



終戦後のわが国が廃虚と混乱の中から立ち上がり、社会秩序と経済機構の正常化に国の総力をあげて邁進しつつあった昭和20年代において建設機械リース業が創生し、爾来今日までの20数年の間に北は北海道より南は九州、沖縄に至る日本全土にわたって業者が分布するまでに発展して参ったのであります。

この間、東京オリンピック、大阪における万国博、北海道の冬期オリンピック、また高度経済成長政策による各地のコンビナート造成等、大型工事とそれにとまなう関連工事の完遂のた

め、建設業界は総力をあげて施工技術の高度化と、工期の短縮、コストダウンなど諸問題解決のため、あらゆる種類の機械を導入し、機械化施工が積極的にすすめられて参ったのであります。

しかし、手持機械の機種、台数にもおのずと限界があり、また無制限購入による保有資産の増加も、建設産業が受注産業であるという特殊性の故に稼働効率が難問題として常にその合理化を阻むといった、建設業界の悩みの解決に協力し、側面よりその発展と合理化に寄与しつつ、同時に膨張へ道をすすんで参ったのが、われわ

れ建設機械リース業界の現況であります。

しかしながら、業者が乱立するにしたがって諸々の弊害、発展への障害といった数多くの問題が露呈し、これらの解決のために各地に地区団体が結成されて参りましたが、地区単一団体のみでは解決できない難題を抱えるに至って、昭和45年4月、「全国建設機械リース業連合会」の結成、誕生をみたのであります。現在では全国の14団体がそのさん下にあり、業者数も600有余を数えておりますが、今後さらに未組織地区に団体が結成されることによって、当然加入団体も参加業者も増加する見通しであります。

連合会結成と同時に、われわれ業界の念願の一つであった建設機械の法定耐用年数の短縮化促進問題を探り上げ、会員各位の絶大なるご協力のもと関係役員力を合わせて大蔵省主税局ならびに国税庁に陳情し、幸いわれわれ業界の苦衷をご理解いただき、47年4月1日付をもって手持機種のうち、一部ではありますがリース業の実情に合った適正なる短縮が認可され、現在では全国でかなりの業者がその恩恵を受けている次第であります。また歴史が浅く、全く新しい業種であるため産業界における所属も明確でなく、社会的にも甚だ不安定であったため、その地位の向上と、産業界に占める所属の確立をめざして通産省とも接渉を重ねてきた努力が報われ前述、法定耐用年数短縮認可と時と同じくして47年4月1日付官報付告、わが国産業分類中「7422 建設機械器具賃貸業」として、ここにはじめて産業界に建設機械リース業が政府により正式に認められた次第であります。

以上、大問題解決と並行して今日の栄ある発会式を皆さまとともに迎えることになった業界最大の念願だった「社団法人」取得のため、法人化促進運動を全会員一丸となってすすめて参りましたが、主務官庁である建設省におかれましては、諸般の難問題があったにもかかわらず、われわれ業界の切なる念願をご理解いただき、ここに永年の夢が実現した次第であります。

しかしながら、われわれリース業界も、創生

より近々30年足らずの歴史の浅い産業であり、今日までの乱立過程においては、ややもすれば日々の業務にのみ気を取られ、次第に社会問題化しつつあった施工過程における建設機械の公害問題に対する意識の不足勝であったことと、各メーカーにおける販売政策上の諸問題ともからみ合っと思うにまかせず、一時期を過ぎてきたことでもあります。機会あるごとにメーカー筋とも懇談を重ね、また各メーカーも時流を見極め公害防止のため新製品の開発に努力せられ一部の機種においては防音、防塵の効果をあげつつあります。今後とも各メーカーと密接なる連絡協調を保ちながら、公害防止のための諸研究も含め、その実をあげるべく努力を続ける所存であります。

なお、昨年来のオイル・ショックによるインフレ急進と、加えて品不足がわれわれ業界にもおよんできたわけですが、中でもゴムならびに塩ビ製品の高騰、品不足は目を覆うものがあり、これをそのまま放置することができず、会長以下関係者によって通産省化学製品課にその実情を訴え、善処方を陳情するとともに、ゴム製品メーカーのブリヂストン、横浜ゴム、その他、また日本ゴムホース工業会ほか関係団体を歴訪し、数次にわたる会合を重ねた結果、通産省よりの迅速なる行政指導もあって、価格の値引きと品物の安定供給の確約を取り付け得た次第で、これも会員各位の団結とご協力の賜であります。

また、われわれ業界に籍を置く従業員の自覚と資質ならびに社会的地位の向上をめざし、友好団体である社団法人「日本建設機械化協会」ならびに社団法人「全国建設機械業協会連合会」とともに労働省技能検定課と種々接渉を重ねた結果、「建設機械整備技能士」の国家検定制度が確立されました。

以上のほか、細部にわたっては種々の事業を重ねて参りましたが、誌面の都合もあり、省略いたしまして経過報告を終わります。

社団法人 記念特集号に寄せて

健全なる発展へ

新スローガンは登録制の推進



社団法人 全国建設機械リース業連合会
東京建設機械リース業協会

会長 山内 鹿蔵

私ども建設機械リース業界が、その史上最悪の時機に遭遇しつつあるにもかかわらず会員各位におかれては時局を認識、自重され、企業の合理化、技術の開発等、あらゆる経営努力により最も健全かつ着実な営業方針のもとに発展されつつあることは洵に慶びに堪えません。

しかるに、わが国経済界も高度成長の過熱による反動を受けて、ドルショック、エネルギー危機、インフレーション、金融の引締めと最も解決困難な諸要因など内外諸問題の激動に煽られ建設業界への波及も、また史上まれな難関期

に突入し、今後の見通しも暗然たるものがあります。

このような急迫した情勢下に連合会創立以来の懸案でありました社団法人格の許可を、さる10月18日付、建設省東文発第275号をもって得られ、引続き11月6日、東京商工会議所スカイルームにおいて発会式を開催いたしましたところ全国各地より業者団体の代表が多数一堂に参集し、また顧問の諸先生、監督官庁である建設省ほか関係諸官庁、友好団体の代表を招待し180名のご参席を得て、ご鄭重なご祝詞、誠に有意義な激励のお言葉を受け、出席会員一同この画期的前進に感動するとともに公益法人として自覚と決意を新たにいたしました次第であります。

かえりみて、昭和39年の東京オリンピック、同45年の大阪万国博当時より、高度成長を遂げ、社会資本も追々充実に向い文化福祉も一段と向上して参りましたわが国経済界も、対外的諸問題の影響を受け、天井知らずのインフレーションの旋風に見舞われ、これが防止の重点策として物価の凍結、金融の引締強化により、総需要抑制政策の浸透と徹底の実施により公共事業費の繰延、削減を余儀なくされ、民間企業は金融逼迫のため極度な低下、不況に陥り、建設業界も史上まれな低迷状態を続け、さらに先行き見通しもきわめて暗然。当然リース業界へのショックも全国各地にわたって波及し、需要減退による熾烈な過当競争の結果、一部不渡倒産の痛ましい実情が現出されつつあります。

この厳しい時局に直面しながら法団法人格の許可を得たことは、すなわち「不景気下の開店」であり、むしろ業界の健全なる発展へのよき試練であると痛感いたします。この時に業界として内蔵するあらゆる障害、対外的解決すべき諸問題に対処し、全国のリース業界がより一層緊密な交流を架め、団結して連合会の拡充・発展を期し、建設機械はすべてリース、レンタル、チャーターによりその責任分野を確立し、もって建設産業の発展に協力、団体の福祉活動を推進し社会貢献するならば、誠に意義のある設立であり、発会であると信ずるものであります。



以上のように公益法人たる社団法人に昇格したことを大いに自覚し、まずこの際心機一転、自主規制をもってモラルを尊重し、過当競争を排除、体質の改善により、この難関を打開し健全な発展をはかるべきではないでしょうか。

次に法人格の整った当全国連合会の将来への新しいスローガンとして組織の拡大充実をはかり、業界の登録制度採用問題がその唯一の理想であると思います。この課題は社団法人化の経過以上に困難な問題点があり、会員各位の熱意と長期的努力を要するはさることながら顧問の諸先生方、関係諸官庁の絶大なご指導とご検討をもとに連合会として十分研究努力して、その推進をはかりたいと考えておりますので会員と構成員諸賢の大いなる自覚とご協力をまつ次第であります。

終りに臨み、この誕生したばかりの社団法人全国建設機械リース業連合会に対し、この育成のため何卒顧問の諸先生ならびに関係諸官庁、友好団体の諸先輩の今後格別なご指導、ご鞭撻を賜るよう幾重にもお願い申し上げます。また、従来、連合会および会員たる各地区団体に格般のご協賛をいただいております賛助会員の方々には社団法人としてご理解を深められ、今後一層のご後援、ご高配を賜りますよう紙上をもってお願い申し上げます。

諸問題解決のための飛躍台

北海道建設機械リース業協会 (北海道支部)

会長 伊藤 鉄雄



年頭に当たり謹んで御祝辞を申し上げます。
インフレに明け、不況に暮れた激動の旧年を送り、新年を迎えるに、当面する諸難問題に身の引締まる感がいたします。

総需要抑制、スタグフレーション等、悪材料の中に、われわれ全建リース連が社団法人の認可を受け、新発足できましたことは誠に快事であり、ご同慶にたえません。関係官庁のご理解と山内会長はじめ担当理事の方々のご苦勞とまた親身にお世話いただいた顧問の諸先生方に対し、われわれ遠隔の地で何もお手伝いできなかった北海道の会員一同心より感謝の意を表します。これを機会にわれわれ一同、さらに研鑽に努め、資質の向上、共通の諸問題解決のための飛躍台とするならば誠に意義深いことと考えられる次第であります。

われわれ北海道の協会の活動状況としましては、会員数現在34社、未加入の業者が相当増加しているため、加入増を呼びかけ、協調していただくよう運動中であります。総じて道内のレンタル業者の機械保有量が過剰傾向にあり、加えて昨年は他管内より2社の追出があり全般的に最盛期でも稼働率が低下し遊休機械が多く見受けられた。

実施項目としては

- 過当競争を防止するため会員個々の機械の増加を極力抑制し、会員相互の機械の交流を増加するよう指導。

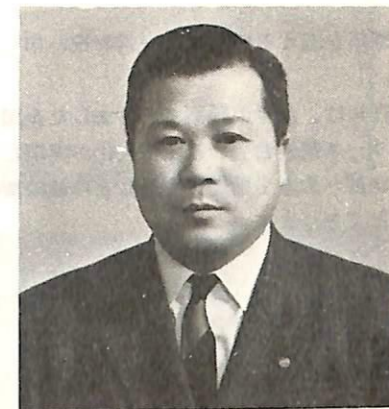
- メーカーおよび商社と会合を持ち、新規にレンタル業者をつくらぬよう、また補修部品の円滑な供給を申し入れる。
- 社員研修のため、各講習会の実施、および建設機械整備技能検定の推進。
- メーカー工場の視察(日本車輛製造)実施
本年度の重点目標としては、昨年に引続き低需要が見込まれるので、過当競争の排除、適正料金の保持等、懸案事項に対処する心構えであります。
ここに社団法人設立を祝し、会員諸賢のご健勝とますますのご隆盛をお祈り申し上げます。

広い視野と団結の強化

(東北支部)

宮城県建設機械リース業協会

会長 阿部 喜平



全国会員の皆様新年おめでとうございます。いくたびか元日を迎えて現在にいたりましたがこの75年元日ほど輝かしい年であってほしいと願う気持ちの切実なことを味わったことはありません。

政治的にも経済的にも、さらには社会的にも余りにもむずかしい宿題を抱えこみ、しかも解決の道にはほど遠かった昨年は、焦りに似たものの連続だった中に、わが業界が10月、社団法人化されましたことは暗夜に一灯を得た気持ちです。

この機会に紙上を拝借し、次の2点について申し上げ会員皆様のご指導をいただきたいと存じます。

1. 視野を広くして物を見る

新聞紙上報道されておりますとおり、1昨年の石油ショック以来、従来の国際関係は当然のことながら新たに人口、公害、食糧、工業資源等の問題が賑やかにしかも切迫感をもって論議され、しかもこの解決は総じて全地球的な処方が確立されない限り解決し得ないという事態を迎えました。

ここにいたり、もう一度自己の姿を振り返りより広い視野をもって物を見ることに努力することが極めて大切なものと痛感しているところです。

まず、自己の姿を確立し、しかる後これを具体化した場合、関係する相手の立場を現在以上に広く深くかつ細かに検討する、あるいは直接関係する相手方の意見を聴取する等、端的に申し上げれば古くから言われております「相手の身になって考えよ」という習慣を一段と向上さ

せることが企業についても要請されているものと考えます。

問題は検討すべき資料をいかにして必要な人々が必要なだけ収集することができるかということです。連合会がこの面において大いに効果を発揮されることを祈念するものです。

1. 営業は競争しても団結の強化を図る

現経済システムからすれば、われわれリース業として、その営業はあくまで競争的に行なわれることは当然のことであり、公正な競争という文字通りに万事が行なわれればめでたい限りですが、そこが人間の弱味とでも申しましょう。まして今日のように業界を取囲む環境が、いまだかつて経験したことのない程悪化している現在、なおさらに身に沁みるものがあります。特にこのたび連合会が法人化されました現在、互いに競争相手であっても、互いに会員であるということは現実の姿なのであります。

それぞれの立場にある会員の方々が、それぞれに営業が順調に推移し、しかも永続するということが最大の妙薬であると個人的には信じていますが、もしご納得いただけるものであれば脱皮された連合会においてもナニ分に検討していただき、その妙薬確保にお力添えを願いたいものと期待申し上げます。

兵庫県西部地区重機建設業者組合

理事長 大知 国治

新年を迎えるに当たり一言お祝い申し上げます。

昨年は、永年の懸案でありました全国建設機械リース業連合会の社団法人化が実現し、業界の発展へ大きく前進をみたことは誠に慶ばしいことでもあります。

現下の経済情勢は、著しい混迷状態にあり、本年の見通しも暗然といたしておりますが、この社団法人を機にさらに一層団結し、業界の発展へ邁進いたしたいと思っております。

日本 ローラリース協会

会長 藤井 孝治

社団法人化おめでとうございます。

今回の法人化は、私ども建設機械リースを業とするものにとって誠に慶ばしいものであり、また今後大きなはげみとなるものであります。今後ともよろしくご指導の程をお願い申し上げます。



関東重機リース協会

会長 高村 邦彦

全国建設機械リース業連合会の社団法人化につきましては山内会長はじめ先輩諸兄のご尽力の賜であり、深く感謝いたします。

私ども協会は、こうした時期に入会させてい

ただき、今回の法人化の慶びを皆さま方と共に分かち合えることができ大変うれしく思っております。

関東メンクリース協会

会長 会田 寅次

全国建設機械リース業連合会の社団法人化を心からお祝い申し上げます。

このたびの社団法人化は、業界の明日の発展への飛躍台となるものであり、その意義は誠に大きく、今後の支えになるものであります。おめでとうございます。



新たな闘志をもって臨む

神奈川県建設機械リース業協会（神奈川支部）

会長 中村 憲



謹んで昭和50年の新春を迎えるにあたり、同業各会員ならびに建設産業各界の皆様方のご多幸と限りないご発展を心から祈念致す次第であります。

顧みますと、1昨年来のいわゆるエネルギーショックにより、社会経済の激変は異常なまでにエスカレートして、その余波にもまれた私たち業界におきましても、極度の不安感に日夜おののかざるを得なかったと言っても過言でないかと存じます。

そして引続く、総需要抑制による永い間の経済不況の暗雲は、いつ晴れるやも見通しは困難視されているやに思われます。

このような情勢下ではありますが、昭和50年という一つの大きな節にあたる本命の年を迎えた私たちは心を新たに「上を向いて歩こう」ではありませんか。それには数多くの矛盾と、満たし得ない要求の山積する諸問題に直面してなお克服して行かねばならないのに、積み、メーカー、ユーザーとの相互理解を深めて問題の共同解決を図ることが必要であります。

幸い昨年10月には、永年の懸案でありました社団法人化が成り、全国的組織の私たちの地位が国より認可されましたことはご同慶のいたりであります。さらに本年は、労働安全衛生に関連して、建設機械整備技能士の国家試験も実施されることであり、「ステップアンドステップ」の初歩の跳躍により、輝かしい実績を担った

のであります。次いで私たち企業の健全なる発展を期すためには、登録制、認可制といったことにも関心をもって行かねばならぬ事項かとも思います。

いずれにしても、高度成長経済政策から、福祉と環境を優先した豊かな国造りと、地方自治体の施策に歩調を併せて行くには相互扶助、共存共栄の精神がなくしては、過去に蓄積した社会貢献の大きな足跡は破壊されてしまいますので、互いの立場を理解し合って、新たな闘志をもって臨みたいと切望してやみません。

どうか本年が、私たち業界の飛躍の一步として輝しい初年度にふさわしい実績が得られますよう、よろしくご支援、ご鞭撻を賜わり、ご協力の程をお願い申し上げます。

共通の基盤に大同団結

静岡県建設機械リース業協会
会長 高島 博行



昨年は連合会の念願である法人化が実現し、法的にも社会的にもその地位が確立したことはご同慶に堪えません。本来は法人に応わしい内容充実の第1年と存じます。良い年を期待します。

しかしながら、われわれを取り巻く産業界、とりわけ建設業界にとって容易ならぬ前途が予想されますが、逆にそれだけリース業の活躍する範囲も広くなると言えるでしょう。私は地域協会の会員と共にリース業の社会的使命と、その責任を改めて確かめながら、協会の役割を果たすべく頑張りたいと存じます。

静岡県協会は、会員15社ですが手広くやっているところは極く僅かで、会社の一部門としてとり入れているところも多く、その規模、内容はまちまちです。また本県は東西200キロメートルにおよぶ、いわゆる東海道ベルト地帯で東部地区は京浜に接し、西部地区は中京に近く、古来、産業、経済、文化、あらゆる面で両者それぞれの影響を受けて今日に至りました。

こうした実情下にありますが、私どもはリース業という共通の基盤に立って、相互の理解と協力のもとに大同団結をいたしております。さらに48年に県下の建設関連業45団体が結集して静岡県建設会議所が設立され、当協会も一員として加入いたしました。関連団体のみならず、横の関連におけるリース業の重要性を把握できました。

当協会は会員15社の小さい団体ですが、同業者である全国建設機械リース業連合会と建設関連業者の集りである建設会議所という、縦と横とのご指導をいただいております。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。



既成観念を打ち破れ

(中部支部)
中部建設機械リース業協会
会長 宮野 正三



ソースと呼ばれたリース界も漸く定着されてリース・レンタルは恰も既成事実のように企業化して経済界に根をおろしました。

しかしながら、顧って私ども企業内容は、ユーザーの需要に対して万全であると言えるかどうか、リース・レンタルの形態について十分ユーザーに満足されているかどうか、リース・レンタルが新興企業であり現在のわれわれが、その範を作って栄光ある遺品を果たして子孫へ残すことができるかどうか、私はこの3つのいずれもノーであると言いたい。それは何故か。

元来、日本人の島国根性は目の先慾にとらわれて自己保身に窮々として教育されてきた家族制度が大和民族悲劇の歴史の始まりであり、しかもこれが修身と言われたわけです。

敗戦を境として導入されたデモクラシーは、従来の日本歴史を覆えし大衆による大衆の政治が普及。しかしながら徹底した全体主義を叩き込まれた現企業の中核であるアバゲールが手の平を返すように簡単に切换えするという事は無理難題であって、それが戦後30年間に追われてあつという間に過ぎてしまつてデモクラシーは半端じりのまま今日にいたっています。

そして、それは知らず知らずのうち、私どもの教育は自己保身一辺倒となり、一匹狼で満足し、頑として他を受け付けない、人の世話にもならない主義が当然であるとされてきたわけで

これが本来の日本の小中小企業の姿であり、しかも孤立無援のため権力の前に無抵抗に等しかったわけです。

しかし、漸くここ数年来、共存共栄が叫ばれグループによる活動の重要性が認識されて組合協会の運動が活発になってきました。いま、ここに一枚の小さな名刺でも、その肩書によって中央の奥深くまでまかり通れる現実と権力の前立ちにだかることのできる唯一の力が組合、協会であるという事実を…。

激動する経済情勢下、余りにもデコボコの多い跋行的な現況下にあつて、確かにリース・レンタルは花型企業である。しかし私どもは、そのような美辞麗句に甘えることなく、貧欲になお一層経済界に君臨して当然である。そのためには、一より百、百より千、千より万の同志の結集が必要である。全国未加入の9500の同志諸君、いまこそめざめてほしい。

幸いにして、昨年10月、連合会も宿望の法人化を達成、名実ともに協団体として新発足しました。何も迷うことはありません。連合会の旗の下へ1日も早く参加することが、すなわち前進であると確信します。既成観念を打破することができるか、できないか、それはあなたの決断次第です。

賃貸20年を省りみて

(関西支部)

大阪建設機械リース協同組合

理事長 志茂坂 敏



全国建設機械リース業連合会の法人格が、さる10月に建設省より待望5年、ようやく認可されましたことは誠にご同慶に堪えません。

かえりみますに私ども大阪で、戦後の食糧不足、物資不足にあえいでいた昭和25年ごろに荒廃した国土復興の大銘分にいささかでも寄与したいとの念願で10数人の同志が寄り合い、遊休機械を建設業者より購入、要補修の物は修理または改装して要求業者に販売あるいは賃貸したのが手初めて、合わせて米軍の払下げ機械を購入、活用したわけです。

もちろん私どもは個々に資産は乏しく、ひとりでの購入は困難であり、共同で買入れ、利用しようとしたのが組合結成のはじまりで、昭和32年5月に13社をもって「大阪建設機械商協同組合」が発足いたしました。扱い機種もモンケン、杭打胴輪から払下げ品のブルドーザー、ショベル、コンプレッサー、発電機まで現在の専門化に比べて遙かに多様でした。

一方では外国機の故にパーツに言語に尽し難い苦勞をしたものです。たとえばインガースランド社のロータリーコンプレッサーの原動機Gmのパーツなど、いちいち米本土から航空便で取寄せ、またアリスチャーマーなどブルドーザーのパーツは入手不能なので、わざわざまねて作ったりしたものです。

それにもまして心外だったことは、土建機械の賃貸屋？という一般にさげすみの語呂をもっ

た受けとめ方です。物を貸して金を取る、というなんとなく外道な商売のように思考され、異端者扱いにされたものです。

今日でこそリース・レンタルという最も近代的な最先端を行く企業として大きくクローズアップされておりますが、それもこの20年間、私どもの先輩、そして先覚者が必要に迫られてとはいえ、この仕事の道を、賃貸業という軌道を敷いてくれた、本当に立派な業績の恩恵と感謝するものです。

とかく組合活動がとか、連合会のメリットがなどと叱責を受けますが、これも私が常に申す通り、この企業にたずさわることそのことがメリットであるという自信ではないでしょうか。この事業に誇りをもつなら、そして先馳された先輩諸氏のご苦勞を考へるなら、私は今日の法人格を得、また47年には建設機械賃貸業という立派な企業として業種指定された時代の最先端を行く事業にたずさわる全国建設機械リース業連合会の皆さまの得意、自信こそむべなるかなであります。

昭和50年を迎え、私どもの企業がそれぞれの立場で大変な苦勞の年かと思いますが、初心不変、お互いに合理化し、共存共栄の実を共に結び合うことこそ繁栄の礎だと思います。会員諸氏のご自愛とご健闘を祈り上げます。

健全なる発展と使命を果たす

中国建設機械リース業協会

会長 野口 誠 輔



全国建設機械リース業連合会の社団法人としてのこのたびの新発足をお慶び申し上げます。

会長はじめ役員の方々のご永年のご尽力と代議士の先生方および建設省の担当部課の方々のご指導に対し深甚の謝意を申し述べます。これからは建設工事の健全なる発展に寄与するリース業界の使命に邁進せねばならないと決心いたします。

中国建設機械リース業協会は全建リース連の前会長はじめ役員諸兄のご指導を賜わり、昭和47年8月、広島、山口両県の業者が団結して創立いたしました。その後、同年6月岡山県下の同業者で東中国建設機械リース業協会が設立されたのを機に、昭和48年11月、両協会が発展的に解散して一本化し、新しい中国建設機械リース業協会を設立いたしました。

現在は、中国5県の同業者が加入し、会員数40社、その事業所数はおよそ60社に達しました。会議は年1回の定時総会他に、隔月に理事会を開いております。会員のおよそ7割はここ5年以内に創業、また会員の2割は中国地方以外に本社を持つ営業所の会員です。

ところで建設業界は、日本列島改造論の政策下で昭和48年までは伸び率は大きく、したがって貸機械の台数も毎年大幅に増加してきました。48年秋の石油危機以後の物価高騰、資材の枯渇により、一変して総需要抑制政策がとられ今日まで続いています。

建設工事の繰延べのために機械の需要は急激に低下し、手持機械の遊休は甚だしくなっています。企業体質が弱少なために過当競争は激しくなり、資金繰りは苦しく、賃料の適正化を全会員が望みながら需給のバランスが崩れている現状でダンピングは月と共に激しくなっています。

協会としては、業界の体質強化、過当競争の排除、賃料の適正化をはかり、サービスの向上と安全対策を推進せねばならないと思います。連合会が建設省所管の法人として許可を受けたのを機会に、会員が時代の要請により健全なる発展を遂げ、社会の使命を果たすことができるように建設省担当部課の一層のご指導を仰ぎたく念願するものです。

過当競争のデメリットを排す

四国建設機械リース業協会

会長 三原達雄



昌頭に全国建設機械リース業連合会の社団法人化が実現されたことに対し、お慶び申し上げます。

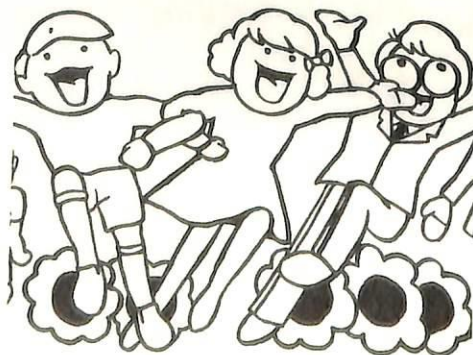
四国建設機械リース業協会が、全国建設機械リース業連合会に入会させていただきましたのは確か昭和48年4月だと記憶しております。早いものでもう満2年目を迎えようとしているわけで、発足当時の14社が現在では20社と約50%増と拡大できましたことは、当協会の存在価値が認められたという事実でありまして会員の皆さまのご協力の賜のと深く感謝しております。

また当協会では、先日の理事会におきまして建築仮設部門と機械部門の2部会を設定することができましたことは、新しい進歩であり、今後の運営に大きな意義があると思われま

す。とたろで最近の経済情勢は内外の諸問題を数多く抱えるなど、非常に厳しくなっており、私ども業界もこの影響を受けて容易ならぬ状態となっており、いままで歩んできた過当競争によるデメリットを喰い止めなければ、互いに破滅の道に踏みこむことになると思われま

す。このためには、やはり全会員が協力し合いな

がら互いに手を握り合って、情報の交換を行なうことにより、一歩、一歩、前進して行きたいと思



高次元の対応策が必要

九州建設機械リース業協会 (九州支部)

会長 林田陽一郎



九州の協会は、11月6日の社団法人発会式前に行なわれた全建リース連理事会に正式提案され、全理事の承認を得て会員となることができましたが、いわば1年生ですので先輩協会の皆様にはよろしくご指導をお願いいたします。

社団法人格取得に当たっては山内会長はじめ先輩諸協会の皆様の努力をいただき深く感謝する次第です。

総需要抑制下、きびしい局面を迎え、全国各地の同業の皆様にはご健闘のことと思いますが九州地区における協会活動の状況を2、3報告させていただきます。

九州建設機械リース業協会は、昭和42年発足以来、満7年を経過し加盟35社を数え、九州各県および沖縄県におよんでいます。

協会の運営は、重機部会(道路機械、重機械等)、軽機部会(発電機、コンプレッサー、バイプロ等)、仮設部会(足場材、バタ角、鋼製型枠、鋼矢板等)の3部会にわかれ、各部会の長が副会長を兼ねるほか、各部会から理事3~4名を選出して理事会を構成し、会務の決定を行なっています。

現在、当地区においても不況下、レンタル価格の安定維持の問題に取り組んでいますが、各部会にわかれて対話を繰り返し協会内部の融和の中から問題点を引き出しながら解決しているのが現状です。

ただ、当面の問題だけでなく協会の地位向上

のためには官庁、ユーザー、メーカーおよび商との対話ならびに会員相互間の自己研修等による高次元の対応策が必要になり、現在この問題についての具体策を検討中でありま

す。幸いに、このたび全建リース連の社団法人格取得と、その九州支部の発足をみましましたので、これらの問題については、全建リース連の組織の中で全国の皆様と十分連絡をとりながら業界の地位向上のため、邁進する所存ですので、皆様の温いご支援とご協力をお願いいたします。

祝 社団法人全国建設機械リース業連合会

建設機械一般

内田建機株式会社

社長 内田 三郎 太

〒280 千葉県千葉市神明町3-4-8

☎0472 (41) 9451 (代)

建設機械一般

株式会社 オマタ土鋳機商会

社長 小俣 実

〒150 東京都渋谷区東2-29-3

☎03 (400) 2591 (代)

各種
フォークリフト・ショベルローダー
賃貸・販売・修理

関東フォークリフトサービス株式会社

社長 松尾 茂

〒135 東京都江東区毛利2-2-8

☎03 (633) 0157 (代)

建設機械一般及び仮設機材

小松物産リース株式会社

社長 小松 一平

〒121 東京都足立区西保木間1-14-8

☎03 (884) 1066 (代)

ベルトコンベア製造・リース専門

三明興業株式会社

社長 山内 鹿蔵

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-14

☎03 (711) 5471 (代)

建設機械一般

三瓶重機車輛株式会社

社長 三瓶 徳司

〒175 東京都板橋区新河岸2-9-5

☎03 (938) 7200 (代)

祝 社団法人全国建設機械リース業連合会

建設機械一般

三和リース株式会社

社長 西垣 勝行

〒123 東京都足立区鹿浜2-25-18

☎03 (897) 7766 (代)

建設機械一般

株式会社城南建材社

社長 小林 鈴夫

〒157 東京都世田谷区砧公園2-3

☎03 (700) 9794 (代)

建設機械一般

新川工業株式会社

社長 新川 大吉

〒104 東京都中央区月島3-23-10

☎03 (533) 1165 (代)

バイブロ・発電機
コンプレッサー・水中ポンプ

新電気株式会社

社長 小沼 光雄

〒132 東京都江戸川区南船堀町7880

☎03 (687) 1411 (代)

建設機械一般

大正建機株式会社

社長 西野 正

〒144 東京都大田区多摩川2-15-4

☎03 (759) 8281 (代)

建設機械賃貸・製作・販売・修理

株式会社 日 邦

社長 中村 勝彦

〒110 東京都台東区上野7-11-7

(川村ビル)

☎03 (843) 3856 (代)

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

建設機械一般

東日本コンベア株式会社

社長 高野 勇

〒160 東京都新宿区番衆町36

☎ 03 (351) 7181 (代)

土木建設機械総合リース

双葉リース株式会社

社長 福山 勝

〒133 東京都江戸川区南篠崎4-284-1

☎ 03 (679) 1236 (代)

シートパイル・レール・架設材

株式会社 柳沢商店

社長 柳沢 彰

〒104 東京都中央区勝どき3-5-6
シヤンボール築地204

☎ 03 (531) 8591 (代)

建設機械総合商社

株式会社 ワキワ 東京支店

支店長 砥石 治雄

〒103 東京都中央区日本橋兜町2-3
(大洋ビル4F)

☎ 03 (668) 0821 (代)

建設機械一般ローラ

関東重車輛株式会社

社長 後藤 毅

〒101 東京都千代田区神田和泉町1-1
(フエビル)

☎ 03 (861) 4457 (代)

建設機械一般ローラ

日機工業株式会社

社長 藤井 孝治

〒103 東京都中央区日本橋茅場町2-1
(植松ビル3号館)

☎ 03 (661) 3779 (代)

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

建設機械一般

武久興業株式会社

社長 斉藤 功一

〒335 埼玉県戸田市本町2-15-22

☎ 0484 (41) 9011 (代)

建設機械一般

国土造営株式会社

社長 会田 寅次

〒273 千葉県船橋市宮本町1-21-10
(安間ビル内)

☎ 0474 (23) 0135 (代)

建設機械一般

松栄重機株式会社

社長 志茂 法人

〒104 東京都中央区新川1-16-3

☎ 03 (551) 6049 (代)

●九州建設機械リース業協会会員●

(五十音順)

稲尾産業株式会社
 川商建材リース(株)福岡営業所
 九州安芸重機運輸株式会社
 九州エアーリース株式会社
 九州中央リース株式会社
 九州ユナイトリース株式会社
 九州リース株式会社
 株式会社 九動
 北九陸運株式会社
 建興機材株式会社
 鋼板リース(株)福岡営業所
 株式会社 国場建機
 三建工機株式会社
 三新工業株式会社
 サニ一電機工業
 株式会社 伸成電機工業福岡支店
 株式会社 新和
 株式会社 新日本コンベア
 株式会社 センター機材
 総合リース株式会社
 有限会社 太陽興業
 友清商店
 西尾リース(株)福岡営業部
 日建九州リース株式会社
 日本開発機械株式会社
 西日本鉄道(株)電車局建機営業部
 西日本建設資材株式会社
 株式会社 ニッシン福岡営業所
 福岡建設機械株式会社
 富士建機(株)福岡営業所
 有限会社 布施さく岩機商会
 双葉リース株式会社福岡支店
 株式会社 森谷商会
 株式会社 矢野商店
 株式会社 ワキタ九州支店

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

建設機械賃貸・修理・販売

大塚機械株式会社

代表取締役 大塚 喜一

〒220 横浜市西区平沼1丁目21番4号

☎ 045 (323) 2221 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部
神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械賃貸・修理・販売

木立機材工業株式会社

代表取締役 木立 将量

〒221 横浜市神奈川区綿花町1丁目4番4号

☎ 045 (461) 1481 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部
神奈川県建設機械リース業協会副会長

建設機械賃貸・修理・販売

常盤工業株式会社

代表取締役 源 藤作

〒232 横浜市中区かもめ町22号

☎ 045 (622) 8871 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部
社団法人全国建設機械リース業連合会監事
神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械総合リース・レンタル業

株式会社 中村商店

取締役社長 中村 憲

〒220 横浜市西区平沼1丁目2番23号

☎ 045 (321) 1641 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部長
社団法人全国建設機械リース業連合会副会長
神奈川県建設機械リース業協会会長

建設機械賃貸・修理・販売

有限会社 松屋機械工業

代表取締役 谷津倉 保

〒250 神奈川県小田原市成田808番1号

☎ 0465 (36) 5115 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部
社団法人全国建設機械リース業連合会理事
神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械販売・賃貸

株式会社 山敬商会

代表取締役 山田 敬太郎

〒232 横浜市南区高砂町2番25号

☎ 045 (261) 2454 (代)

社団法人全国建設機械リース業連合会神奈川県支部
神奈川県建設機械リース業協会副会長

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

何んでも貸します

近藤産興株式会社

〒457 名古屋市南区大同町2-3

☎ 052 (611) 5561 (代)

リース・レンタル

- ・ロータリーコンプレッサー
- ・ディーゼル発電機
- ・エンジンウェルダ
- ・バイブレーションローラー
- ・バイブロプレート
- ・バイブロハンマー
- ・水中ポンプ・エンジンポンプ
- ・その他土木建設機械

ナゴヤ建機センター株式会社

〒454 名古屋市中川区小碓通5-2

☎ 052 (651) 8105 (代)

建設機械・産業機械
プレハブ・仮設材・リフト

リース & レンタル 販売 整備

マツオカ建機株式会社

川越本社 三重県三重郡川越町当新田17
☎ 0593 (65) 8271 (代)

四日市 四日市市六呂見字甚九郎田957
リースセンター (名四国道沿)

☎ 0593 (46) 1602 (代)

営業品目

ロングエレベーター・ユニバーサルクレーン
モビールクレーン・キャリヤークレーン

ロータリーコンプレッサー・エンジン発電機
バイブロハンマー・ロードローラー・ランマー
各種ポンプ・バイブレーター・チェーンソー
エンジンウェルダ・小型バックホウ
ウインチ・コンベアー

〒452 名古屋市西区こも原町153

滝富工業株式会社

☎ 052 (501) 3175 (代)

貸コンプレッサー

- ・ロータリー
- ・スクリュー

油圧ハンマーゴブリン

中古センター完備(機種豊富)最高値で下取致します

工場用から建設現場用まで 本社工場 名古屋市緑区
大高野町字上塩田60
<指定工場> ㈱日立製作所 北越工業(株)・三井精機工業(株)
☎052 (621) 5161(代)

夜間専用052 (611) 7771

(株)萩原商会 熊本支店 ☎0963 (44) 0001(代)
大分営業所 ☎0975 (43) 2771(代)

総合土木機械のリース
機械土木工事

リースのミヤノキカイ

〒456 名古屋市熱田区二番町2-89

(国道一号線)

☎ 052 (681) 5766 (代)

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

建設機械と
コンプレッサー・サンドブラストの
販売・賃貸・修理

株式会社 秋田商店

〒532 大阪市東淀川区十八条1丁目8-38
☎ 06 (399) 5441 (代)

土木建設機械リース

鉄筋切断機 製造販売
曲機

音頭金属株式会社 大阪支店

支店長 構 孝雄
〒551 大阪市大正区南恩加島町1番90
☎ 06 (553) 3761 (代)

建設土木機械リース

株式会社 関西機工

取締役社長 志茂坂 敏
〒556 大阪市浪速区東神田町873-1
☎ 06 (561) 8601 (代)

水中ポンプ・発電機
専門リース

システムレンタルのバイオニア

旭栄興業株式会社

取締役社長 岩崎 昇
〒535 大阪市旭区大宮1丁目11番15号
☎ 06 (955) 2020 (代)

27 創業41年
年 賃貸をはじめ 土建機械・建設資材
現場用組立ハウス

賃貸～販売

相互土建機械株式会社

本社 大阪市浪速区久保吉町1242 〒556
☎ 06 (568) 1234 (大代表)
滋賀営業所 滋賀県栗太郡栗東町大字出庭天白 〒520-31
☎ 07755 (2) 2143 (代)～5

土木建設機械賃貸・販売

株式会社 成松屋

代表取締役 永田 仁作
〒556 大阪市浪速区幸町4丁目5番地の20
☎ 06 (562) 4461～4466 番

祝 社団法人 全国建設機械リース業連合会

リース & レンタル

■大阪建機リース協同組合
■(社)リース事業協会正会員

一般産業機械から建設機械まで
何んでもご相談下さい!

ニシオリース株式会社

取締役社長 西尾 晃

●本社：大阪市南区鰻谷中之町67 ☎06(251)7302
●営業部：東北0222(23)6745・関東03(653)8131・名古屋052(211)4558
関西0729(49)4500・中国08266(4)2567・福岡092(581)9451

あらゆる建設機械と各種ポンプ
レンタル&リース

有限会社 日商機械

営業所 ☎06 (561) 2044番・6137番
(568) 3211番
大阪市浪速区芦原町1176-3
(立葉町バス停一ツ東辻南50m)
本社 ☎06 (568) 3236～3237番 夜間兼用
大阪市浪速区木津川1丁目7番地の2

営業品目

N N C 空気圧縮機 発売元
株式会社日立製作所空気圧縮機販売店
北越工業株式会社特約代理店・指定工場
各種空気圧縮機及び真空ポンプ
各種ニューマチックツール製作
各種建設機械販売・修理・賃貸

(株)西日本コンプレッサー (旧(株)明治商会)

本社 大阪市福島区海老江中1丁目2-2
☎06 (453) 2021 (代)
工場 大阪市西淀川区竹島町5丁目7番25号
☎06 (472)4785・2198

北越工業(株)コンプレッサー (サービス指定工場)
三井精機(株)
伊丹工業(株)バイプロハンマー (サービス指定工場)
日平産業(株)
東洋さく岩機販売(株) 販売代理店
日本ニューマチック工業(株)

大阪市浪速区桜川5丁目1423番地

株式会社 広津機械工業所

☎06 (562) 7201 (代)
☎06 (561) 4616 (第一工場)
☎06 (561) 4321 (第二工場)

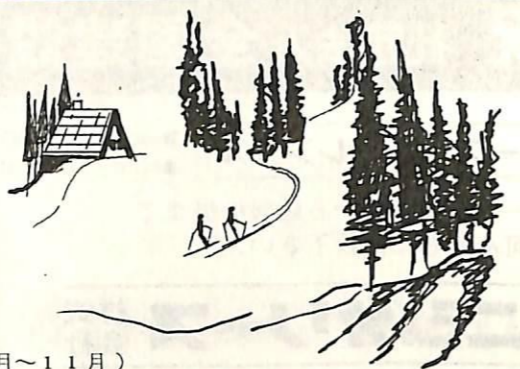
海中工事
建設機械レンタル・リース

株式会社 和田工業所

取締役社長 和田 繁夫
本社 大阪市西区本田3番丁15番地
☎06 (581) 0051 (代)
工場 大阪市港区池島2丁目5番36号
☎06 (572) 4121 (代)



行 事 一 覧



(49年5月~11月)

〔法人化第1回理事会〕

昭和49年11月6日、午後1時から、東京商工会議所、東商スカイルーム。出席理事25名。
△議題=①臨時総会と創立総会について②上申書の提出と許可日について③発会式準備状況について④参与の資格について⑤定款細則について⑥専務理事の兼任と職員の増員について⑦役員等々の表彰について⑧看板、名称について、その他。

〔臨時理事会〕

昭和49年9月14日。渋谷信用金庫恵比須支店4階ホール。

△議題=臨時総会と創立総会について。

〔地区代表者会議〕

昭和49年8月29日、午後2時30分から。本部事務所。出席17名。

△議題=①法人化にともなう定款修正事項の報告②同事業計画案、予算案の検討③同役員候補者の選考④技能検定ポスターの作成について⑤災害防止月間ポスターの作成について、その他

〔49年度第1回理事会〕

昭和49年8月8日。宮城県松島町「大観荘」。出席33名。

△議題=①法人化にともなう定款について②部門別委員会の構成と役員地区別割り当てについて③全国標準価格表の再検討について④業界のPRについて⑤技能検定実施について⑥全建リース連のマーク制定について。

〔広報委員会〕

昭和49年8月2日。大阪組合事務所。出席9名。

△議題=①災害防止月間ポスターの作成依頼先について②会員名簿作成要領について③会報の作成要領について。

〔合同委員会〕

昭和49年6月27日。本部事務所。出席20名

△議題=①部門別委員会の組織変更について②法人化促進の経過報告③技能検定の試験準備について④災害防止月間ポスターについて⑤会員名簿の作成について。

〔第5回定時総会〕

昭和49年5月16日。伊東温泉「いづみ荘」。出席67名(うち委任状18名)

△議題=①48年度事業報告②同収支決算③定款細則、出張旅費、支部規程案の仮承認について④49年度事業計画案⑤同収支予算案⑥改選理事承認について。

〔48年度第4回理事会〕

昭和49年5月16日。伊東温泉「いづみ荘」。出席38名。

△議題=①連合会賦課金について②49年度第1回理事会の開催地および月日について③ゴム製品の交渉結果について④第5回定時総会の運営について。

社団法人全国建設機械リース業連合会会員名簿

昭和49年1月15日現在

会員名称	代表者名	事務局所在地	電話	郵便番号	会員数
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	北海道札幌市南一条東三丁目片桐機械(株)内	011 (261)0256	060	33
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	宮城県仙台市小田原弓ノ町31青葉商工ビル内	0222 (56)0126	983	34
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都渋谷区東2丁目17番11号	03 (409)3761 ~2	150	115
日本ローラリース協会	藤井 孝治	東京都千代田区神田和泉町1-1フェビル内	03 (861)4457	101	53
関東重機リース協会				151	35
関東メンタリース協会	会田 寅次	東京都中央区八丁堀2-2-11協栄会館	03 (552)7581	104	27
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	神奈川県横浜市西区平沼1-2-23(株)中村商店内	045 (322)0612	220	58
静岡県建設機械リース業協会	高島 博行	静岡県三島市谷田字雪沢173-2和興産業(株)内	0559 (75)5436	411	15
中部建設機械リース業協会	宮野 正三	愛知県名古屋市中区藤ノ宮通り3-43小出ビル内	052 (571)2080	451	36
大阪建設機械リース協同組合	志茂坂 敏	大阪市浪速区桜川3-1-12協田第一ビル内	06 (562)1987	556	94
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2富野機工(株)内	0849 (53)3033	720	40
兵庫県西部地区重機建設業者組合	大知 国治	兵庫県姫路市飾磨区城南町3丁目31中山興業(株)内	0792 (37)0001	672	19
四国建設機械リース業協会	三原 達雄	香川県綾歌郡国分寺町新居四国仮設工業(株)内	08787 (4)2131	761 ~04	18
九州建設機械リース業協会	林田 陽一郎	福岡県福岡市博多区諸岡字池ノ上286-10太陽興業(株)内	092 (581)6135	816	34

■ 編集後記 ■

広報委員長 志茂坂 敏

新年おめでとうございます。

昭和50年は、昨年来からの経済情勢の低迷がそのまま尾を引き、私ども業界にとりましても建設関連業種として試練の年となりそうですがこうした時こそ共存共栄の実を上げていかなければならないといえるでしょう。

幸い昨年10月には念願でありました連合会の社団法人化が得られましたことは、このような情勢の中で全国の会員諸兄に大きな自信と誇りが与えられたわけで、誠に同慶にたえません。

さて連合会では、この法人化を記念して会報(特集号)を発行することとなり、ようやく皆さま方のお手元にお届けすることができました。発会式当日の感動をひとりでも多くの方々に誌面を通してお伝えしたいと思います。最後になりましたが、発行に際し準備いただいた方々、執筆していただいた方々、ならびに協賛いただいた賛助会員の方々に厚くお礼申し上げます。



会報

法人化記念特集号

昭和50年1月15日発行

発行所

社団法人 全国建設機械リース業連合会
東京都渋谷区東2丁目17番11号
TEL (03) 409-3761~2

発行人

会長 山内 鹿蔵

編集人

広報委員長 志茂坂 敏

印刷所

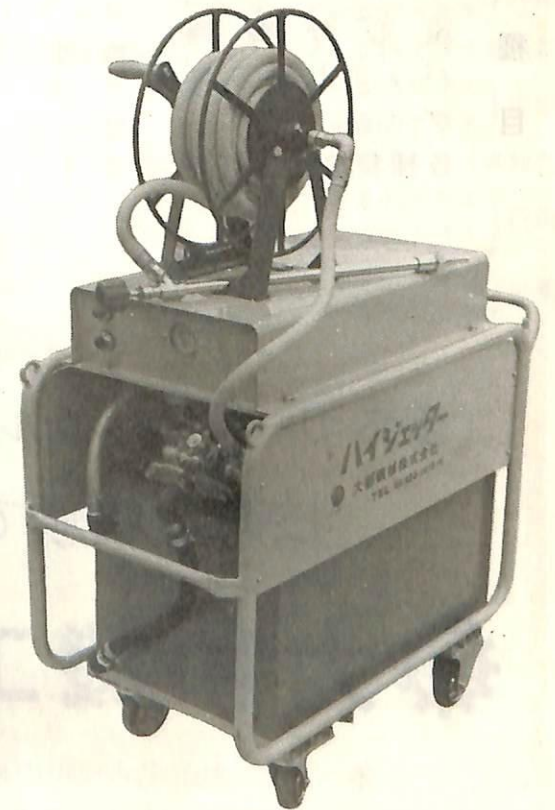
商都出版印刷株式会社

高圧噴射洗浄機

ハイジェット

特長

- 従来のワッシャーより圧力、水量とも強力です。
- 貯水槽内蔵式ですので水道に直結できます。
- キャスター付きで移動が簡単です。
- 噴霧は手元のコックで自在です。
- 保守点検が簡単です。
- マグネットスイッチはサーマル付きですのでモーターの損傷がありません。



製造元



大都機械株式会社

東京都豊島区東池袋1-32-4 藤原ビル2F ☎03 (984) 1618 (代) 〒170

建設機械・産業車輛機器の技術商社

顧客の立場になって、高度なサービスで奉仕します。

取 扱 種 目	油圧式掘削機	トーマンバイプロ
	機械式クレーン	バッチャープラント
	油圧式クレーン	水平ボーリングマシン
	エアコンプレッサー	骨材プラント
	遠心分離機	コンクリートポンプ
	バッテリーロコ	汚水浄化装置
	ブローアー	クラッシャー
各種整流器・電池	ワーマンポンプ	コインロッカー

販売・リース・レンタル・修理・改造・据付・輸出

技術と信頼で未来を開く

大和機工株式会社

本社 名古屋市中村区広小路西通3-9 ☎052-582-5131

工場(事業部) 大阪市共和町藪南1番地 ☎0562-47-2161

TELEX 4486-528

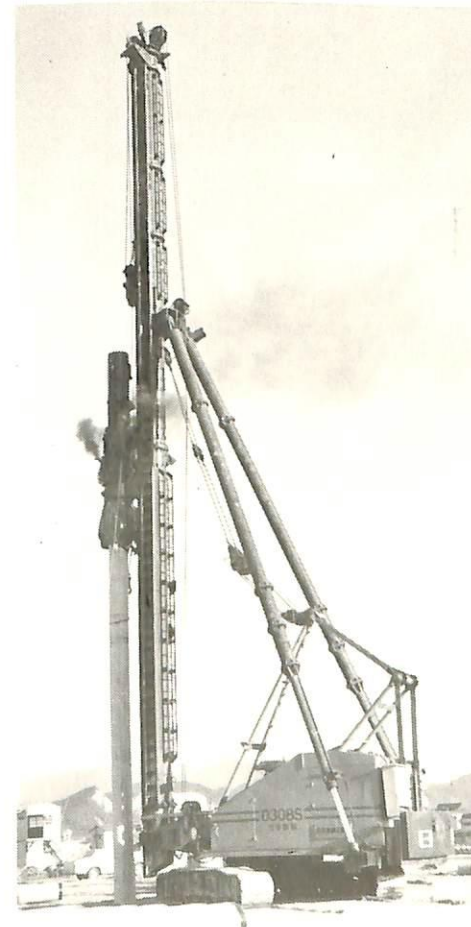
事業部	建設機械事業部	工場	共和工場	松本営業所
	産業機械営業部		岐阜出張所	長野出張所
	電機車輛部		三重出張所	上田出張所
	機材部		豊橋出張所	山梨出張所
	プラントエンジニアリング			

日車…三点支持式杭打機

クローラ式三点支持杭打機は、我が国では、日車の開発によるもので、抜群の安定性と極めて精度が高く能率の良い作業性能で、絶大なご支援とご支持を得ております。

〔機種〕

D207LC-M40C	ハンマー #45クラス 単独打
-M40D	ハンマー #25クラス
	オーガー #60クラス
	併用打
D308S-M40C	ハンマー #45クラス 単独打
-M40D	ハンマー #45クラス
	オーガー #50クラス
	併用打
-M60C	ハンマー #60クラス 単独打
-M60D	ハンマー #45クラス
	オーガー #60クラス
	併用打
-M60E	ハンマー #25クラス
	オーガー #80クラス
	併用打



製造元

重 日本車輛製造株式会社

産機自動車本部 名古屋市中村区鳴海町字柳長80
電話 (052) 623-3311 (代表)

総代理店



日熊工機株式会社

建設機械事業部 東京都中央区八丁堀一丁目11番5号
電話 (03) 551-2151 奥山ビル

静かな工事で国土開発・都市再開発を

デンヨー 防音型 SSシリーズ

防音型エンジン発電機



DCA-55SS
45/50kVA・200/220V・50/60Hz
いすゞDA120・76.5PS/1800rpm

防音型エンジン溶接機



DBD-230YSS
40A~230A・2ミリ~5ミリ
ヤンマーNS-130C

防音型エンジンコンプレッサー



DPV-175S
5.0m³/min・7kg/cm²・ベーンロータリー形
いすゞDA-220・53PS/2000rpm

デンヨーの防音型SSシリーズは、デンヨー独自の防音型設計により、いずれも70ホン以下という静かさ。しかも、耳ざわりな不快音を取り去っていますから、ふたりの会話が通常の声の大きさで十分できます。もちろん、夜間、住宅地など周囲に気がねして工期を遅らせる心配もありません。いつでも、どこでも思う存分ご使用ください。

 **デンヨー株式会社**

本社 東京都中野区上高田4-2-2
☎ 03(389)3111 代表 千 164
営業所 札幌・仙台・新潟・東京・静岡・名古屋
金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡

印刷ミスのお詫び

会報新年号の内印刷ミスにより、記載も
れがありましたので、下記の通り修正を
お願い申し上げます。

記

◎31ページ 関東重機リース協会様分の

代表者名：高 村 邦 彦

事務局所在地

東京都新宿区東大久保 1-438

真彌機業(株)内

電話： 03-352-3511 千 160

◎なお、この名簿は昭和50年1月15日現
在です。重ねてお詫びし、訂正致しま
す。